ドラフトとは

あらかじめ用意したデッキではなく、ランダムなカードの束からその場でデッキを構築し、対戦する遊びかたです。通常は４名でプレイします。

用意するもの

■ドラフト用カード（60枚）

60枚のカードはすべて1枚ずつとし、同じカードが2枚以上含まれないようにします。

※固定セット封入のカードのうち、スタートカード5種を除いた60種の使用を推奨します。
また、好きなカードを60種選び、独自のカードプールを作成する遊びかたも可能です。

■デッキ構築用カード

ドラフト用カードの60種と同じカードを、それぞれ2枚以上用意します。

■スタートカード＆フレームカード

それぞれ多めに用意しておきます。

ゲームの準備

ドラフト用カードの60枚をよくシャッフルし、4名のプレイヤーそれぞれに8枚の束×1と7枚の束×1を配ります（このカードの束を便宜上パックA、パックBと呼びます）。
このとき、パックの中身が見えないよう裏向きで配ります。

ドラフト（1周目）

各プレイヤーは、自分のパックA（8枚の束）の中身を見て、その中からデッキに使いたいカードを1枚選び、自分の手元に置きます。これをピックといいます。
全員のピックが終わったら、残りの7枚のカードを自分の左隣のプレイヤーに渡します。
この手順を、カードがなくなるまで繰り返します。

ドラフト（２周目）

各プレイヤーは、自分のパックB（7枚の束）の中身を見て、１周目と同様に、１枚ピックします。
全員のピックが終わったら、残りの6枚のカードを自分の**右隣のプレイヤー**に渡します。
（**1周目とは逆方向です**）
この手順を、カードがなくなるまで繰り返します。

ドラフト終了

2周のドラフトが終わると、各プレイヤーの手元には15種類のカードが残ります。
この15種類のカードを使ってデッキを構築し、対戦を行います。

デッキ構築のルール

- 通常のデッキ構築ルールに則った40枚＋スタートカード3枚のデッキを構築します。フレームカードの枚数も通常のデッキと同じく12枚です。
- 自分のデッキには、**ピックした15種類のカードを入れることができます**。その際に**デッキ構築用カード**を使用し、**1種あたり最大3枚**までカードを増やすことができます。
- ピックしたカードをデッキに入れなくても構いません。
- スタートカードとフレームカードは、種類を自由に選ぶことができます。
- デッキ内の**色の制限はありません**。スタートカードと一致した色でなくてもデッキに入れることができます。
- デッキが4色以上になっても構いません。

ピックしたカード

例

構築したデッキ